

総合計画・総合戦略・復興事業計画の位置付け

いわき創生総合戦略を基本計画の重点施策として位置付けるほか、同戦略における各個別の政策パッケージを、基本計画の政策・施策の柱ごとに位置付けることとする。

いわき創生総合戦略
(27年度～31年度)

いわき版地方人口ビジョン
(2060年まで)

「地方人口ビジョン」は、人口の将来展望を明らかにし、今後目指すべき方向を提示するものであり、「いわき創生総合戦略」は当該ビジョンを踏まえて策定することとなる。

一方、総合計画基本計画においては、参考指標として人口推計を示しているところであるが、「地方人口ビジョン」との整合を図る観点から、人口の将来展望として基本計画に位置付けることとする。

なお、人口の将来展望については、行政経営の目標ではなく、適切な見込みに基づく試算であることから、目標とは別項目として設定する。

新・いわき市総合計画

基本構想

(13年度～32年度)

基本計画

(前期：13年度～22年度)
(後期：23年度～32年度)

第1章：行政経営の方針

基本的な考え方
重点施策の設定
行政経営の目標

(参考指標)人口推計→人口の将来展望

第2章：まちづくり

体系図

政策・施策

- 0 まちづくりにあたって→復興
- I 美しい環境を守り、育てあう
- II 心をつなぎ、支え合う
- III 学びあい、高めあう
- IV 魅力を育み、磨きあう
- V 活気を生み、力を伸ばしあう
- VI 交わり、連携を強めあう

第3章：行財政運営

体系図

取組 1～8

資料

実施計画

(28年度～30年度)

復興事業も含め、各個別事業の3カ年の取り組みを位置付け。

復興ビジョン

(23年度～32年度)

復興事業計画

(23年度～27年度)

- 取組の柱 1 被災者の生活再建
- 取組の柱 2 生活環境の整備・充実
- 取組の柱 3 社会基盤の再生・強化
- 取組の柱 4 経済・産業の再生・創造
- 取組の柱 5 復興の推進

復旧計画

復興ビジョンに掲げる復興期から発展期への移行時期にあたり、復興の総仕上げに向けて、着実に復興事業を推進していくとともに、市制施行50周年、地域創生への取組みなど、新たなステージを見据えながら、明るく元気ないわき市の創造に向け、その礎を築き上げることが必要であり、両者を一体的に進行管理するため、復興事業計画を基本計画に取り込むこととする。

(仮称)復興工程表(新規)

国の交付金を活用した事業など、主要な復興事業の進捗を明らかにするため、工程表を作成し、公表する。